

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

学校だより



令和3年度第11号(令和3年7月21日発行)



「…今まで当たり前だったものが、当たり前じゃなくなってきた。新しいものを当たり前にしていかないといけない時代の変化みたいなものは、この作品（「青天を衝け」）とリンクしている部分がある。その新しい常識をどう受け入れていくのか、それは人それぞれだと思うが、（渋沢栄一）は、柔軟に対応していくし、喜々として飛び込んで行ってしまいう性格には、勇気をもらえる。…」

NHK大河ドラマ「青天を衝け」渋沢栄一役 俳優 吉沢亮さん
NHK番組のインタビューより

この言葉をみなさんはどう感じますか。

コロナ禍により「新しい生活様式」（検温や消毒、マスク、ソーシャルディスタンス、黙食などの当たり前）が日常化しました。学校を含めこれからの社会は、今まで以上に世の中の動きに敏感になり先を見ようとする目をもって、柔軟に対応する術を身に付けなければならないと感じています。

中学部3年の菊池さんが、作業学習で看板を作成しました。木材に色を塗り、それを組合せ、板に釘を打ち付け、「富士山花壇」を完成させました。



地域の事業所からも看板作成の依頼を受けており、2学期も看板づくりに励みます。



校長 松本仁美

幼稚部 69 日間、小中学部 72 日間の 1 学期が終わりました。長い夏休みを計画的に、そして健康で安全に気をつけてすごしましょう！